

1 大会概要

大会名称：ふくいマラソン（仮称）

※仮称とし、大会スローガンやロゴマークとともに検討

開催時期：北陸新幹線福井・敦賀開業後の春季、日曜日

競技種目：フルマラソン（42.195km）
日本陸連登録競技者の部、一般の部
・ファンランの部、オンラインマラソンの部の併設を検討

制限時間：6～7時間（フルマラソン）

スタート時間：午前9時

参加定員：10,000人（フルマラソン 8,000人、ファンラン 2,000人）
・将来的な規模拡大を想定

参加料：10,000円～（フルマラソン）

2 開催目的

- ① 福井の魅力を全国に発信
- ② 交流人口の拡大
- ③ 地域経済の活性化
- ④ スポーツ文化の醸成



足羽川の桜並木



©さが桜マラソン

3 大会コンセプト

北陸新幹線福井・敦賀開業という福井にとって新時代の幕開け大会を通して**みんなに福井の新時代を実感**してもらえるよう、以下のコンセプトを設定

- **福井発の全国に誇れるとんがったフルマラソン**
 - ・桜を大会の顔とし、福井のいいところ「福いいネ！」を国内外に発信
 - ・福井独自の取組を創出、シティプロモーションの最先端を走る
- **全都道府県で一番最後だけど一番新しい、新世代のフルマラソン**
 - ・全国最後だからこそできる新しい大会のあり方を追求
 - ・これからの時代に対応した持続可能な大会へ
- **はしる、みる、ささえる + つながる フルマラソン**
 - ・走る楽しさを追求するとともに、誰もが主人公となれる大会へ
 - ・地域の盛り上げを創出する福井のフラッグシップイベントへ

大会スローガン
開催目的やコンセプトに沿った、インパクトのあるスローガンを制作

大会ロゴマーク
福井らしく、デザイン性に優れたものを制作

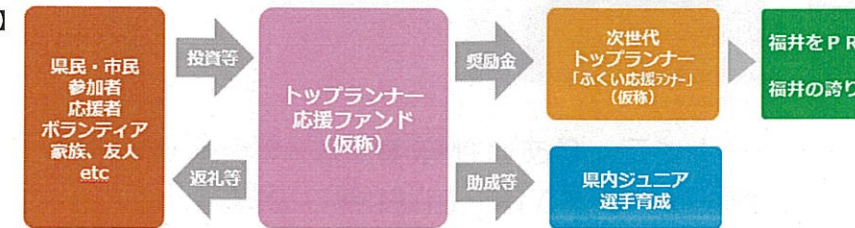
4 大会の特徴

仕掛け1 トップランナーの支援・活用のカタチ

次世代トップランナーや未来ある子ども達を応援する、福井発のマラソンによる地域活性化の枠組みを創出

- ・次世代トップランナーなど、大会上位入賞者への活動奨励金や県内ジュニア選手育成のための助成を実施（応援ファンドの設置など）
- ・大会上位入賞者を「ふくい応援ランナー（仮称）」に認定し、県民・市民で永く応援
- ・「ふくい応援ランナー（仮称）」が全国区の有名トップランナーになることで、福井をPR
- ・子ども達との交流の場を作り、未来のトップアスリートを目指すきっかけを創出

【イメージ】



仕掛け2 マラソン × デジタル 新しい大会のカタチ

マラソンをデジタルで楽しむ、新しい大会のあり方を追求

- ・みんなが楽しく参加できるオンライン大会の併設・活用
- ・マラソンを楽しく応援できる・される、新しいデジタル応援ツールの開発

仕掛け3 マラソンで、みんなが“つながる”カタチ

マラソンのつながりが、人と人、人と福井をつなぐ仕掛けを展開

- ・ボランティア向けイベントの開催など、ボランティアにとっても満足度が高く、活動のつながりを継続できる仕掛けを構築
- ・県内マラソン大会をはじめ、様々なイベントと連携し盛り上げを創出
- ・大会を契機とした県内周遊、ワーケーションなど、県外参加者と福井をつなぐ

5 大会運営 ※以下の取組みを実施・検討する。

大会実行委員会を設立し、協賛企業、ボランティアなどの協力を得ながら運営
デジタル化や新しい技術・手法を積極的に取り入れながら、効率的、効果的な運営

競技計画

仕掛け2 競技種目 … ファンランの部（障がい者含む）、オンラインマラソンの部の併設

仕掛け2 SDG's (持続可能な開発目標)への対応 …
QRコード受付、プログラムや完走証のウェブ発行によるペーパーレス化等

運営計画

仕掛け3 ボランティア活動の推進 … ボランティア活動のつながりを継続できる仕掛けを構築

など

ふくいマラソン（仮称）基本計画書〈案〉

6 大会・地域の盛り上げ ※以下の取組みを実施・検討する。

県民・市民みんなで楽しんで参加してもらえ仕掛けを構築

(1) 参加者裾野拡大事業

- ランニング教室・イベントの開催（初心者向け教室、有名ランナーの招聘等）
- 県内ランニングクラブ活動の推進（練習会や記録会等、草の根の活動を活性化）

(2) 開催機運醸成事業

- 県内マラソン大会との連携（スタンプラリー、各大会上位入賞者の本大会への招待）
- オンラインマラソン大会の開催（県内だけでなく全国への情報発信に活用）

(3) プレ大会開催事業

- 本大会開催に向けた機運を高め、県民・市民の目標となるプレ大会の開催

(4) 沿道応援・おもてなし事業

- 桜を感じることができる華やかな演出（さくら色の手袋による応援やフォトブースの設置など）
- 応援スポット・パフォーマンスエリアの設置（公募団体によるよさこいやチアダンスなど）
- デジタル応援ツールの開発（楽しく応援できる・されるアプリの開発など）
- つぼみ（キッズ）エイドの設置（子ども達が主役のエイドステーション（給水・給食））
- 「ふくいマラソン（仮称）」応援事業の募集（大会と一緒に盛り上げてもらう事業の公募）

(5) トップランナーの支援・活用による地域活性化事業

- 次世代トップランナーや子ども達を応援する福井発の新しい枠組みを創出

■コース設定■

(1) 基本方針

- 福井の魅力を感じることができる、トップランナーからビギナーまで走りやすいコース
※日本陸上競技連盟の公認を取得
- 応援やおもてなしなどで多くの県民・市民がランナーと触れ合うことができるコース
- ランナーやボランティア、応援者の安全が確保でき、将来的な規模拡大に対応できるコース
- 迂回路の確保など、交通への影響を抑制できるコース

(2) スタート・フィニッシュ地点の考え方 「福井駅西口付近」を基本として検討

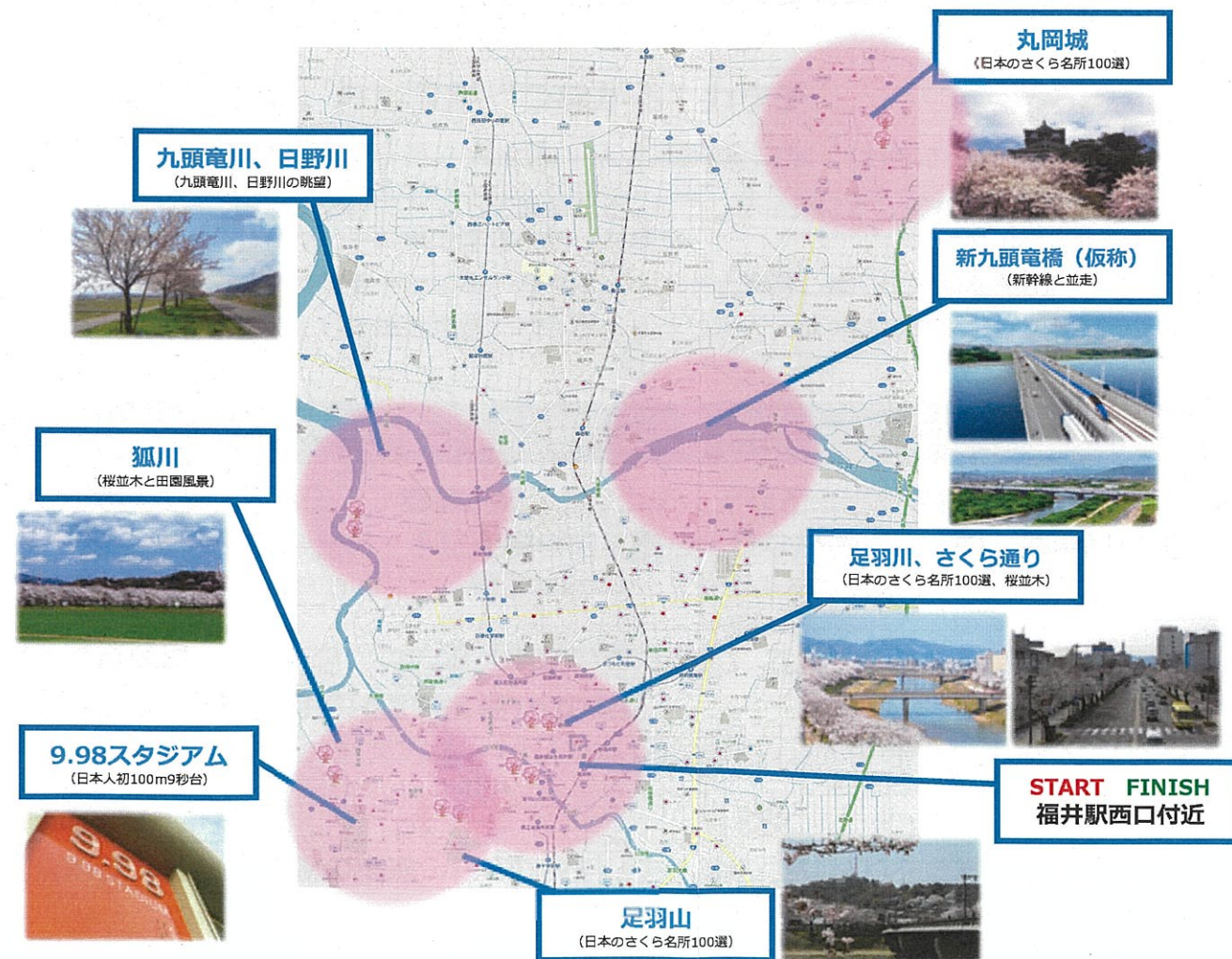


<選定理由>

- 大会に関わる様々な参加者に高い利便性があり、ランナーへの訴求につながる
- 都市型マラソンでは全国的に稀な駅前発着であり、話題性がある
- 中心市街地と連携したイベント開催による賑わいの創出など、地域の盛り上げや、経済効果を高めるに相応しい会場である

(3) コース概要

全国に誇れる福井の桜の名所を中心に、以下のランドマーク、景勝地等を経由地の候補としてコースを検討 ※検討結果によっては経由しない場合がある。



7 地域への経済波及 ※以下の取組みを実施・検討する。

経済効果を県全体へ波及させるための仕掛けを構築

(1) 福井の魅力発信・おもてなし事業

- 「ふくいマラソン（仮称）」EXPOの開催（大会に合わせた物産イベントで福井の魅力を発信）
- エイドステーション（給水・給食）で福井の魅力ある食を提供し、全国に発信
- 完走記念品等に福井の優れた地場産品を活用し、全国に発信
- マラソンビジネスの創出（大会コラボ商品の開発やDX等による新商品の開発支援など）

(2) 中心市街地等連携事業

- 中心市街地等と連携したイベントの実施（福井駅前や丸岡城付近での賑やかイベント）
- 消費拡大キャンペーンの実施（ナンバーカードを利用した割引特典などの付与）

(3) 観光誘客促進事業

- 参加者向け観光ツアーの企画・造成（出走権付ツアーや県外・国外参加者向けツアー）
- 県内周遊クーポン等の発行（大会を契機に福井のファン・リピーターの獲得）
- ワーケーションや移住定住プランの企画・造成（大会を契機に福井の魅力をより満喫）

8 大会事業費（概算）

3～3.5億円程度 ※今後策定する実施計画の中で収入・支出を見積もり算定
※ふるさと納税（個人・企業）やクラウドファンディング、寄付など、大会を支える多様な支援・応援のあり方を検討